

危険体感実習

志田 暁雄 先端研修支援グループ

1. はじめに

電気電子情報工学課程では、第 3 学年の研究室配属時に低圧若しくは高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育の修了証を発行出来るよう授業・実験を行っている。私が担当している実験テーマが高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育の実習部分に当る為、平成 25 年度に同特別教育を学外にて受講してきたが、それ以降普段の仕事では直接的に高電圧を扱う事は無く、より具体的な経験を増やす為に、特に高電圧体感を含む危険体感実習への参加を希望した。

開催日：平成 30 年 1 月 22 日

会 場：(株)中電工 研修所 安全実習棟

広島県広島市安佐南区伴東六丁目 3 番 1 号

尚、通常は 1 名での参加は受付しておらず、今回も広島工業大学様向けのものに加えていただく形であったが、当日の大雪で安全に研修所へ来る事が難しいとの事で急遽キャンセルされ、私 1 名だけでの実習となった。

2. 研修内容

- 講師(3 名)紹介・施設解説・誓約書記入
- ① 低圧での感電体験、計器短絡再現、充電路短絡体験、引込線被膜損傷再現、線間短絡再現
- ② 高圧での線間短絡再現、間接活線工具絶縁破壊再現、感電再現
- ③ 脚立の開き・横倒れ体験、梯子の横・縦すべり体験
- ④ ぶら下がり体験、墜落体験、柱上ぶら下がり再現
- ⑤ ワイヤー挟まれ体験、回転機器巻き込まれ再現、機械装置挟まれ体験
- ⑥ 落下物衝撃体験、ボルトの切断体験

⑦ スレート屋根踏み抜き体験

○質問・アンケート記入



図 1. 低圧計器短絡再現(左：短絡させた 100V 電力計，右：ダミー人形，手前側にいる体験者の間には透明な保護板があります)

3. 研修成果

通常の仕事内では中々体験出来ない事を知り得た機会であった。特に①②の短絡再現での火花散る様子が、動画等では無く目前で直接観察出来た事は、電気危険性について今後学生に指導する際に生かしたい。自社の施設を広く開放し、色々見せ方を工夫され、また今回の様な非営利法人に対しては無償で開催されておられる(株)中電工様、工事現場での事例等具体的に解説戴きました 3 名の担当講師の方々に感謝いたします。

参考 URL：

http://www.chudenko.co.jp/company/safety_training/